

第44回
トロント国際映画祭
正式出品

第37回
トリノ国際映画祭
Interfedi賞

第30回
ストックホルム国際映画祭
正式出品

第39回
イスタンブール映画祭
正式出品

第23回
上海国際映画祭
正式出品

私たちは
ここに
いる

白いミシンと
カラフルな布と糸に囲まれた
この場所が世界への扉――



メイド ・イン・ バングラデシュ



監督：ルバイヤット・ホセイン | 出演：リキタ・ナンディニ・シム / ノベラ・ラフマン | 撮影：サビース・ランスラン「アンジェリカの微笑み」 | 2019年 | フランス・バングラデシュ・デンマーク・ポルトガル | カラー | 95分 | 配給：パンドラ

un film de Rubaiyat Hossain avec RIKITA NANDINI SHIMU, NOVERA RAHMAN, DEEPAWITA MARTIN, PARVIN PARU, MAYABI MAYA, MOSTAFA MONWAR, SHAHANA GOSWAMI
Produit par LES FILMS DE L'APRÈS-MIDI et KHONA TALKIES en co-production avec BEOFILM, MIDAS FILMS et CINEMA COCCON avec le soutien de L'URIMAGES, L'AIDE AUX CINÉMAS DU MONDE, CENTRE NATIONAL DU CINÉMA ET DE L'IMAGE ANIMÉE, INSTITUT FRANÇAIS, THE DANISH FILM INSTITUTE CO-MINOR SCHEME, SORFOND®, TORINO FILM LAB, CREATIVE EUROPE MEDIA PROGRAMME OF THE EUROPEAN UNION avec la participation de OPEN DOOR FESTIVAL, DEL FILM LOCARNO, BESTLES FONDS, SFS MEDIA-OG KULTURFOND, JYLLANDS POSTEN FONDEN
scénario RUBAIYAT HOSSAIN, PHILIPPE BARRIÈRE réalisation RUBAIYAT HOSSAIN image SABINE LANCELIN son ELISHA ALBERT, JACQUES PEDERSEN
direction artistique JONAKI BHATTACHARYA montage RAPHAËLE MARTIN-OLGER, SUJAN MAHMOUD musique originale TIN SCHERU production exécutive AADNAN IMTIAZ AHMED, ALUNG RAKHINE
production FRANÇOIS D'ARTEMARE, ASHIQUE MOSTAFA co-production PETER HYLDGAHL, PEDRO BORGES, AADNAN IMTIAZ AHMED, RUBAIYAT HOSSAIN ventes internationales et distribution PYRAMIDE © 2019 - LES FILMS DE L'APRÈS-MIDI - KHONA TALKIES - BEOFILM - MIDAS FILMS



世界のアパレルブランドを支えるバングラデシュの首都ダッカのおびただしい数の縫製工場。
過酷な現場で働き、家族を養う女性たちが、環境を改善すべく立ち上がる姿を描くヒューマンドラマ。

世界の繊維産業を支えるバングラデシュ、縫製工場で働く80%が女性で平均年齢は25歳！ 過酷な環境と低賃金——そこで働く女性シムはたったひとり立ち上がる！

実話にもとづくヒューマンストーリー——

世界の大手アパレルブランドの縫製工場が集まるバングラデシュの首都ダッカ。
工場で働くシムは、厳しい労働環境にあえく同僚たちと、労働組合を結成すべく立ち上がる。
工場幹部からの脅し、夫や仲間からの反対に遭いながらも、労働法を学び奮闘するのだが……。

Comment

女性のエンパワメントを記録した力強い作品。
犠牲の上に成り立つ消費社会の仕組みに疑問を持ち、
想像力を働かせて少しでも正しい選択をすることが大切だと思います。
「知」を得て、屈しない姿勢に力をもらいました。

長尾悠美さん
(Sister代表)



リキシャの派手な幌は、40年前と変わらない。
でも、女性たちは変わり始めた。
バングラデシュは彼女たちのパワーで、
国歌に唱われる「黄金のベンガル」になっていく。

松岡 環さん
(アジア映画研究者)

あなたの手にしたそのカラフルな服は、
バングラデシュの女性たちの血と涙で縫われた服だった。
無慈悲と暴力に溢れた世界を変えられるかどうかは、
この映画を目撃した観客にかかっている。

佐々木美佳さん
(『タゴール・ソングス』監督／文筆家)

グローバル経済の不均衡。
その現場を私が観ているのか。いや私が見られている。
終始こちらが、
安価な衣類をたっぷり身に着けたこちらが問われている。

石坂健治さん
(東京国際映画祭シニア・プログラマー／日本映画大学教授)



ダッカの匂うような雑踏、路地裏の暮らし、
結婚式での大騒ぎ、暗闇で小さな魚を料理する灯など、
女性監督ならではの細かい描写に息をのむ。
仲間への仕打ちに立ち向かう彼女たちこそ、
バングラデシュを変えていく力です。

松本智子さん
(NPO法人日本・バングラデシュ文化交流会 理事長)

貧富、教育、ジェンダー、伝統。幾重にも重なり合った複雑な格差。
私たちが享受している安さの裏にある理不尽は決して他人事ではない。
苦しさの中で彼女たちが身に纏う
鮮やかな衣装の美しさに強く勇気付けられた。

加治まやさん
(モデル・ライター)

ダッカの街の空気をありありと思い出しながら映画を見た。
手と手で繋がっている、そういうものの背景に、
女性たちのあんな物語が隠れていたとは。

近衛はなさん
(脚本家・女優)

台本があり役者が演じる映画でありながら、
ドキュメンタリーのような超リアルな世界。
ダッカの路地裏のゴミ、彼女たちが食べるまずそうなランチ。
ファストファッションを着る我々に、これを見よと突きつけてくる。

蔵前仁一さん
(旅行作家)

間違いなく世界が注目すべき作品。——Hollywood Reporter

メイド・イン・バングラデシュ
মেইড ইন বাংলাদেশ

監督：ルバイヤット・ホセイン | 撮影：サビーヌ・ランソン(『アンジェリカの微笑み』) | 出演：リキタ・ナンディニ・シム / ノベラ・ラフマン / パルビン・バル / ティバニタ・マーティン
2019年 | フランス＝バングラデシュ＝デンマーク＝ポルトガル | カラー | 95分 | © 2019 - LES FILMS DE L'APRES MIDI - KHONA TALKIES - BEOFILM - MIDAS FILMS
協力：大阪アジア映画祭 | 日本版字幕：神戸女学院大学文学部英文学科 | ベンガル語監修：南出和余 | 宣伝デザイン：日用 | 宣伝広報：スリーピン | 配給：バンドラ

4月16日(土)より

[6月3日まで]

特別鑑賞券¥1,500(税込)
発売中

当日一般¥1,800、シニア・学生¥1,500のところ
ローソチケット Lコード：34907
販売期間 ～4/15(金)まで

岩波ホール 03(3262)5252
www.iwanami-hall.com

●地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)神保町A6出口すぐ上
●JR(中央線)水道橋または御茶ノ水駅・下車徒歩12分 ●神保町交差点角

連日 10:30 | 12:30 | 14:30 | 18:30

(自由席・定員制・整理券制・入替制)

初週末 ダッカとつないでオンライン監督舞台挨拶予定！
4/16(土)&4/17(日) 14:30の回上映終了後

ルバイヤット・ホセイン監督——1981年1月24日バングラデシュ・ダッカ生まれ。バングラデシュで数少ない女性監督の一人。現在、ダッカとアメリカを往復しつつ、映画製作者のほか、作家、研究者としても活動。



初日プレゼント！ 初回ご来場の先着30名様にMADE IN バングラデシュ、
ビーブルツリーさんご提供 フェアトレードのハンドペイントマグネットをプレゼント！

豪華トークイベントを予定！

(いずれも14:30の回上映終了後)

- 4/20(水) **長田華子さん**(茨城大学人文社会科学部准教授)
- 4/23(土) **南出和余さん**(神戸女学院大学文学部英文学科准教授)
- 4/27(水) **佐々木美佳さん**(『タゴール・ソングス』監督・文筆家)
- 5/3(火) **ジェームズ・ズニーさん**(フェアトレード専門ブランドビーブルツリー社長)
× **胤森なお子さん**(グローバリゼーション代表)

※都合により、日時・登壇者が変更・中止になる場合もございますのでご了承ください。